

MISUMI flowによる業務効率化・コスト削減
GlicoグループのDX推進にも合致、他工場の導入も進行中

MISUMI
flow

グリコマニュファクチャリング ジャパン 株式会社

すこやかな毎日、
ゆたかな人生



社名	グリコマニュファクチャリングジャパン株式会社
業種	食料品
従業員数	3,576人(正社員・サポート社員含む)

グリコ
マニュファクチャリング
ジャパン株式会社の
インタビュー全編は
こちら →



Point



時間削減効果：発注作業時間年107時間作減



コスト削減効果：商品集約で年間約230万円コスト削減

導入前の課題

二段階の注文作業が非効率で業務負担が重荷

平野さま：間接材の注文は月に1度おこなっており、各製造ラインごとに求められる製品は微妙に異なっています。毎月の定期的な間接材の注文は、各製造ラインの担当者が総務課へ連絡し、総務課が取りまとめて行っていました。この二段階の注文作業は業務の負担となっていました。また、過剰注文や一括で納品される製品の保管スペースの確保も課題となっていました。



導入の決め手

注文・補充作業が“まるごとなくなる” メリットが決め手に

平野さま：MISUMI flowの自動販売機サービスの導入により、注文作業や倉庫への製品補充が不要となり、24時間いつでも商品が取り出せるようになりました。顔認証ログインで専用カードが必要ないことも食品メーカーにとってメリットが大きく、異物混入のリスク軽減となります。さらに、サービス導入にあたっては、ミスミ製品だけでなく他社製品も取り扱える柔軟性があり、会社全体のデジタル化の指針にも合致することから、採用に至りました。



導入後の効果・社内の反応

年間107時間の業務削減、 年間227万円のコスト削減を同時に実現

杉内さま：サービス導入後、総務課でおこなっていた注文作業を年間18.8%、時間でみると年間107時間の業務削減ができます。

平野さま：導入後のアンケートでは、スタッフから「注文が楽になった」「こんな製品も入れてほしい」などポジティブな回答ばかりでした。

また、サービス導入のタイミングで間接材の統廃合も行い、統廃合によるコスト削減は年間約227万円になる見込みです。



今後の展望

他工場にも展開し、業務の効率化を加速

平野さま：今後は自動販売機で扱うアイテム数を増やして、さらなる効率化を図りたいです。また、国内の他工場にもサービスを展開し、利便性を共有していく予定です。すでにサービスの社内説明会は実施し、いくつかの工場での導入が決定しています。大阪工場としての取り組みが社内的にも評価され、出張で来た社員や幹部らもわざわざ自動販売機を見に来るほどになっていて、とても嬉しく感じています。Glicoグループ全体のDX推進にもつながる、先進的なサービス導入とすることができました。